

一生勉強、一生青春
—働くために大切なこととは—

栃木県立壬生高等学校
第1学年「総合的な学習の時間」講演会資料



2022年1月26日(水)

13:35～15:00

(14:25～14:35休憩)

開倫塾

塾長 林 明夫

Q 1 : 本日の講演会の目的は何ですか。

- A : (1) 1 学年で行った「職業と進路」のまとめです
(2) 「進路実現」・「よりよい社会人」となるための準備として、今後、学校生活をどのように過ごしていくかを考えます
(3) 「働くために大切なこと」「高校時代に頑張ったほうがよいこと」「自立」「自律」について考えます

Q 2 : 自己紹介として好きなことばを紹介してください。

- A : (1) 「ブルドッグ魂(食いついたら離すな)」
(2) 「練習で泣いて試合で笑え」
(3) 「一所懸命」(一つの所で命を懸けるくらい熱心に、ものごとと取り組む)
(4) 「スポーツの 3 つの宝」
① 「練習は不可能を可能にする」
② 「フェアプレー」(いやしいプレーはしない)
③ 「よき友」
(5) 「教育ある人とは、一生勉強し続ける人」
(6) 「人生は青天井、一生青天井」
(7) 「一生勉強、一生青春」
(8) 「If you can dream, you can do it!」
(もしあなたが夢を見ることができれば、あなたはそれを実現することができる)
(9) 「価値(大切さ)、意味(意味付け)、秩序」(やるべきこと、やらないことを自分で決め、やり抜く)
(10) 「自立から自律へ」「自律的に行動する能力」
(11) 「高い こころざし 志」



Q 3 : 仕事とは何ですか。人はなぜ仕事をする(働く)のですか。

- A : (1) 仕事とは、お客様の問題を解決することで、お客様のお役に立つこと
①すべての仕事には「お客様」がいます
②「お客様の問題を解決」してはじめてお客様のお役に立ちます
③同じような問題をかかえたお客様は社会にたくさんいます。そこで、「仕事とは、目の前にいるお客様のお役に立つと同時に社会のお役に立つことだ」と考えます
(2) ①「お客様のお役に立つ」ため、「社会のお役に立つ」ため
②「仕事を通して、自分の夢や希望を実現」するため、「自己実現」するため
③「生活できるだけの収入」を得るため



Q 4 : 仕事をしていてとても大変なこと、仕事の厳しさは何ですか。

A : (1) 「社会の変化」に対応して仕事をする事です

①現在の最大の課題は、「コロナ禍」の真ただ中で、どのように製品やサービスを提供し続けるかです

②サービス産業は、お客様の消費が激減している業種が多く、どのように対応するかが課題です

③製造業は、半導体はじめ部品や原材料が不足、また、働く人が不足している中で、どう製品をつくり続けるかが課題です

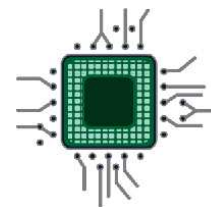
(2) 競争相手や、代替品(代わりになるものやサービス)が、どんどん登場

(3) 「チームづくり」ー「よいチームをつくること」

①仕事は一人ではできません

②どう仕事の仲間とうまくやり、結果を出すか

③ビジネスパートナーとお互い同士理解し合いどう協力するか



— ここでちょっと一休み「コーヒブレイク」です —
— 自分自身や仲間やチームとしての潜在能力をどう発揮するか、
リーダーの役割は大きいー
リーダーとはどのような人だと思いませんか

Q 5 : 現代はどのような社会ですか。そこで求められる能力とは何ですか。

A : (1) 「知識基盤社会」(知識が基盤となった社会)

* 「知識・情報・技術を相互作用的に用いる能力」

(2) 「グローバル化社会」

* 「多様な集団で交流する能力」

(3) 「課題山積社会」

* 「自律的に活動する能力」

* 「高い志」



Q 6 : 高校時代に頑張ったほうがよいこと、身に付けておいたほうがよいことは何ですか。

A : (1) ①高校で学ぶすべての教科の内容は、社会に出てすべて役に立ちます。

しっかり「理解」した上で、定期試験などを活用して正確に身に付け(「定着」)、世の中で活用できるまでにする(「応用」)ことが大事です

②学校の教科書や教材、授業ノートは決して処分しない。一生、手元に保存し、一生かけて何回も「学び返し」すること、死ぬまで「学び続ける」こと

③「生徒会活動」「部活動」「学校行事」「ホームルーム」「ボランティア活動」など、教科以外の教育活動も極めて役立ちます

(2) 高校時代には、「勉強の仕方」を身に付ける

①社会に出てからが勉強です

②「予習」「復習」「理解」「定着」

*「ノートの取り方」「ノート整理」「ノートの活用方法」

(3) 「辞書・新聞・読書」を活用して、「様々な文章や情報を正確に読み解く力」、「読解力」を身に付けること

①「辞書」…意味のわからないことばがあったら、「気持ちが悪い」

と考え、辞書を用いて調べ、ノートやカードに書き写し覚える
—「ことばは力」身に付けている「ことばの数(語彙数)」はカー

②「新聞」…新聞を毎日 30 分以上読んで、「自分で考える力」「批判的思考(クリティカル・シンキング)能力」を身に付ける

③「読書」…本をじっくり腰を落ち着けて、何回も読み、「著者との時空を超えた対話」を行い、「思慮深さ」「自省心(自分を振り返る力)」を身に付ける。「書き抜き読書ノート」づくりを

*自分が所有する本にはどんどんメモや書き込みをし、「著者との時空を超えた対話」を!



Q 7 : 高校時代に行ったほうがよいことは他にありますか。

A : (1) 「5S(5 エス)」です。

①「整理(seiri)」 ----- いらぬものは処分する

②「清掃(seisou)」 ----- きれいに掃除をする

③「整頓(seiton)」 ----- ものと同じところに置く

④「清潔(seiketsu)」 --- ①~③を継続する

⑤「躰(shitsuke)」 ----- 自分から進んで行う

(2) 別な意味の「躰」(しつけ)

①「美しい立ち居振る舞い」…(服装第一)

②「美しいことば遣い」…(敬語表現を含むことば遣い)

③「元気なあいさつ」…(あいさつはこちらからからする)

(3) 自分のよいところ、他人のよいところを評価し、ほめて伸ばす



Q 8 : 最後に一言どうぞ。

A : (1) 「自覚」をもって学び続ける

- ①自分の「よさ」を十分に知り、どんどん伸ばす
- ②自分の「課題」も知り、少しずつで OK ですから十分に時間をかけて改める
- ③他人のよさも少しずつ知り、評価する
— 「人知らずしていきどおらず、また君子ならずや」(論語)



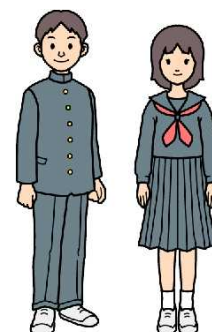
(2) 「価値(大切さ)、意味、秩序」

- ①「何が大切か」を知る、「今行っていることの大切さ」を知る
- ②それがどのような「意味」をもつのかを知る。その上で、「意味付け」を行う
- ③では何をすべきか、何をしないかを考え、自分の力で決める。自分で決めたことは、自分の「ルール」としてできるだけ守る
— 「秩序」のある行動を心掛ける—



(3) 「健康第一」—心の健康・身体の健康—

- ①免疫力を高める(「コロナ対策」にもなる)
 - ・「腸内フローラ」を整える
 - ・「ストレス」をできるだけ少なくする生活を目指す
- ②「定期健康診断」の活用を
- ③「病気」とは真正面から立ち向かう



(4) コロナ禍の中、今、何をしなければならないかを考える

- ①図書館で本を借り、好きな本を思い切り読むのも、このような時期の過ごし方です
- ②図書館の活用方法を身に着けよう
- ③万全の感染対策をし、^{しゆくしゆく} 粛々となすべきことをやり遂げよう

(5) ①「レゴ、ミニ四駆、ハンダ付け電子工作(ライントレースカー・ラズベリーパイ・ロボット)、半導体」などにも挑戦を

②「Windows、Mac の基本操作」

* スマホが好きな人は、アップルの創業者「スティーブ・ジョブズ」の伝記を読み、なぜ、どのように「スマホ」をつくったのかを考えよう

③英検を活用し、英語の 4 技能(読む・聞く・話す・書く)をできるだけ身に着けよう

ご清聴を感謝いたします。

ありがとうございました。

ご質問があったら、遠慮なくしてくださいね。

